



みんなで歌おう

しあわせ運べるように
(神戸オリジナルバージョン)

作詞・作曲 白井 真

一、
地震にも 負けない 強い心をもって
亡くなった方々のぶんも 毎日を 大切に 生きてゆこう
傷ついた神戸を もとの姿にもどそう
支えあう心と 明日への 希望を胸に
響きわたれ ぼくたちの歌
生まれ変わる 神戸のまちに
届けたい わたしたちの歌 しあわせ 運べるように

二、
地震にも 負けない 強い絆(きずな)をつくり
亡くなった方々のぶんも 毎日を 大切に 生きてゆこう
傷ついた神戸を もとの姿にもどそう
やさしい春の光のような 未来を夢み
響きわたれ ぼくたちの歌
生まれ変わる 神戸のまちに
届けたい わたしたちの歌 しあわせ 運べるように
届けたい わたしたちの歌 しあわせ 運べるように

JASRAC 出 1415611-401



感動をわかちあう、心を通わせる、 それがジョイフルコンサート



こうべ障害者音楽フェア実行委員会
実行委員長 松端 信茂

みなさん、ようこそジョイフルコンサートへおいでくださいました。
このコンサートは障害のある人もそうでない人も、気兼ねなく素晴らしい音楽とともに
楽しもうということで、実行委員会のみなさんはもちろん、神戸新聞厚生事業団や協賛
企業など大勢の方に支援していただいて開催しています。

8回目となる今年のゲストには、ピアニストの久元祐子さんをお迎えして、その心に
しみる演奏で、ひとときの安らぎをお届けします。

また、このコンサートは、音楽が大好きで音楽家を夢見て練習にはげむ障害のある方
に、本格的な音楽ホールでその努力と才能を花開かせてほしいという願いをこめて、毎
回、障害のある音楽家に出演していただいています。

今回は選考会で選ばれた3組の演奏がお楽しみいただけます。

どうか、大きな拍手と温かい声援をおねがいします。

私たちは「元気なからだ」と
「元気なくらし」の
お手伝いをしています。

アルカ

スーパードラッグストア/調剤薬局



こだわり弁当! ランチを頼むなら「にこにこキッチン」へ!



株式会社いくせい
〒653-0014
兵庫県神戸市長田区御蔵通
4丁目205-2
Tel.078-515-4770
Fax.078-5119797
http://www.kk-ikusei.co.jp

株式会社いくせい
〒653-0014
兵庫県神戸市長田区御蔵通
4丁目205-2
Tel.078-515-4770
Fax.078-5119797
http://www.kk-ikusei.co.jp



兵遊連青年部会は、障害のある人の社会参加を応援しています。 兵庫県遊技業組合連合会青年部会

〒650-0012 神戸市中央区北長狭通 5-3-11
TEL: 078-351-2371 FAX: 078-351-5018
http://www.hyoyukyo.or.jp/



こうべ障害者音楽フェア 2014

20th
1995-2015
1.17
KOBE

JOYFUL CONCERT vol.8

12月23日(火・祝)
神戸新聞松方ホール

主催

こうべ障害者音楽フェア実行委員会

神戸市 神戸市教育委員会 神戸市社会福祉協議会
神戸市身体障害者団体連合会
神戸市手をつなぐ育成会
神戸市精神障害者家族連合会
神戸市重度心身障害児(者)父母の会
神戸市身体障害者施設連盟
神戸市知的障害者施設連盟
神戸市精神障害者社会復帰施設連盟
神戸市知的障害者施設家族会連合会
神戸市民生委員児童委員協議会
神戸市各区社会福祉協議会
神戸新聞厚生事業団

後援

NHK 神戸放送局 サンテレビジョン
神戸市民文化振興財団 神戸新聞文化財団



～ Program ～

プログラム

司会 阿部京子



三宅 拓(ピアノ)

1. 沈める寺 (ドビュッシー)
2. エステ荘の噴水 (リスト)

鈴木笙太(ピアノ)

1. アヴェ・マリア (カッチーニ)
2. 樅の木 (シベリウス)
3. タイスの瞑想曲 (マスネ)

前川裕美(ピアノ・ヴォーカル)

1. クリスマスメドレー
2. ねがい



<ゲスト>久元祐子(ピアノ)

1. エリーゼのために (ベートーヴェン)
2. トルコ行進曲 (モーツァルト)
3. ピアノソナタ「月光」(ベートーヴェン)



前川裕美・久元祐子

Let It Go～ありのままで～「アナと雪の女王より」



みんなで歌おう・こべっこ少年少女合唱団

しあわせ運べるように (神戸オリジナルバージョン)

～ Performer ～

出演者



すずき しょうた
鈴木 笙太 (ピアノ)

4才の時、脳腫瘍を発症し術後、右半身に麻痺が残る。退院後、入院前から習っていたピアノを再開。当初は、リハビリを兼ねて、両手でレッスンをしていたが、12歳の時に、左手のピアニストの舘野泉氏、智内威雄氏、両氏の演奏に出会い、左手のピアノ演奏を始める。地域や患者会のイベント等で演奏活動を行っている。神戸市垂水区在住。スガナミ楽器ピアノ講師、渡邊智津氏、左手のピアニスト有馬圭亮氏、両氏に師事。神戸市立青陽須磨支援学校高等部1年在学。



みやけ たく
三宅 拓 (ピアノ)

神戸市在住。知的障害。兵庫県立神戸養護学校高等部卒業。現在は就労継続支援B型事業所「みのたに園」に通所。5歳頃からピアノを始め、2009年 2013年に日本障害者ピアノ指導者研究会のコンクールに出場し、練磨賞を受賞。その後、兵庫県内各地のコンサート等にも出演し、活動を広げている。



まえかわ ゆみ
前川 裕美 (ピアノ・ヴォーカル)

6歳で作曲を始める。幼少時より弱視であったが、小学校5年生のときに進行性の難病網膜色素変性症と診断される。中学1年生からクラシックの作曲理論を学び始め、高校の音楽科(作曲専攻)に進学後は様々なジャンルの音楽に触れ、特に映画音楽とミュージカルに興味を持ち舞台にも出演する。高校卒業後、単身アメリカに渡りテキサス州にて10ヶ月間、語学を主に学ぶ。1998年、マサチューセッツ州ボストンにあるパークリー音楽大学に入学。作曲・編曲・声楽・ピアノを学び6年間の留学生活を終える。2004年より全国各地でトーク&コンサート活動を続けている。2014年より宝塚市大使を務める。

～ Guest ～

ゲスト

ひさもと ゆうこ
久元 祐子
ピアニスト

プロフィール

東京藝術大学音楽学部器楽科(ピアノ専攻)を経て、同大学大学院修士課程を修了。知性と感性、繊細さとダイナミズムを兼ね備えているピアニストとして高い評価を受けている。読売日本交響楽団、東京フィルハーモニー交響楽団、日本フィルハーモニー交響楽団、神奈川フィルハーモニー交響楽団などのオーケストラと協演。ベルリン弦楽四重奏団、澤クアルテットとの共演など室内楽のコンサートにも多数出演。歴史的楽器を使つての演奏会や録音にも数多く取り組み、それぞれの時代の中で作曲家が求めた響きと美学を追い求めている。2010年のショパン生誕200年記念年には、全国各地でブレイエル演奏会を行い、大賀ホールでは、天皇皇后両陛下ご臨席の下、御前演奏を行う。2011年2月、ウィーンのベーゼンドルファーザールにおけるリサイタルは絶賛され、オーストリアのピアノ専門誌「ヴァインベルガー」の表紙を飾り、ベーゼンドルファーアーティストに選ばれる。2012年9月、イタリア・ロヴェレート国際モーツァルト音楽祭に招かれ、リサイタルを開催。その模様はイタリア全土に放映され好評を博す。2013年6月、国立音楽大学資料館ピアノプロジェクトの一環としてモーツァルト、シューベルト、ショパン、リスト時代など5台の歴史的楽器を使ったレクチャーコンサートを開催し大きな反響を呼ぶ。CD10枚をリリース。《ハイドンとモーツァルト》(コジマ録音)は、毎日新聞CD選に選ばれる。また、演奏経験をもとに著作にも取り組み、「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)、「作曲家別演奏法IIモーツァルト」(ショパン)などを刊行。国立音楽大学准教授、日本ラトビア音楽協会理事。

久元祐子公式サイト
<http://www.yuko-hisamoto.jp>

